

2010年11月11日

【新規格付】 環境再生保全機構

第7回環境再生保全機構債券： AA

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

環境省所管の独立行政法人。良好な環境の創出、環境保全などを目的とする公共性の高い業務を手掛け、政策上の重要性は高い。環境行政の広がりが見込まれる中で、今後も一定の役割を担っていくと考えられる。承継勘定、基金勘定、公害健康被害補償予防業務勘定、石綿健康被害救済業務勘定の4勘定のうち、財投機関債の発行は承継勘定で行っている。承継勘定は、前身の環境事業団の主要業務だった貸付事業と建設譲渡事業にかかわる債権の回収を行っている。取引先は中小企業が多く、貸し倒れリスクが大きい。全体の債権回収が進むにつれ、徐々に回収が困難な債権の比重が高まっており、リスク管理債権比率は悪化が続いている。国は2013年度までの第2期中期目標期間中、貸倒損失の補填に必要な補助金を予算措置することになっている。このため、機構の負うリスクは限定的だ。

承継勘定以外の勘定では機構は特段のリスクを負っていない。承継勘定の割賦債権や貸付金の回収状況や資産の質、第2期中期目標期間終了後の国の支援姿勢を注視していく。

【格付対象】

発行者：環境再生保全機構

名称	第7回環境再生保全機構債券
発行額	50億円
発行日	2010年11月24日
償還日	2015年 9月18日
表面利率	0.447%
格付	AA (新規)
受託会社	みずほコーポレート銀行
担保・保証等	一般担保
備考	会社法の規定に基づく社債管理者ではなく、独立行政法人環境再生保全機構法に基づく受託会社が置かれる

【参考】発行体格付

AA [格付の方向性：安定的]

お問い合わせ先 格付投資情報センター インベスターズ・サービス本部 〒103-0027東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目ビルディング

TEL.03-3276-3511 FAX.03-3276-3413 <http://www.r-i.co.jp> E-mail infodept@r-i.co.jp

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html>をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	吉田 真
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	神林 尚

信用格付を付与した日	2010年11月11日
主要な格付方法	「政府系機関等の格付の考え方」[2010.07.01]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/methodology/index.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 http://www.r-i.co.jp/jpn/ratingpolicy/RatingDeterminationPolicies.pdf	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/definition/index.html	
格付関係者	環境再生保全機構
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、個別債務に関する情報 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。 R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。	